

私はサポーターとして、今回の宿泊研修に目標をもって臨んだ。それは、私がこの三年間様々な子どもと関わってきた中で導き出した、「自分が楽しむ」というのを伝えることだった。



すなわち、あらゆる活動はこちらが楽しいことを与えるだけでは、その環境はすべてが楽しい空気にならず、与えられる側の自分も一緒に楽しむことで、その場が一つの楽しい空気を創るのだということの大切さを伝えたいと思った。これは、私がこの三年間、アルバイト、ボランティア、実習等を通して多くの子どもと関わり、現場体験をして自分なりに学んだ点である。しかし、自分も一緒に楽しむところまで達するには、それまでの準備、内容検討、話し方などといった過程が大切である。そこで、今回私たちサポーターも早い段階から準備を進め、練習をして臨んだ。その甲斐もあってか、一年生のグループ発表はもちろん、自分が先導して行う活動の際にも、みんなの顔から笑顔が見え、「楽しい」という声が聞こえ、



自分なりの目標を達成できたと感じることができた。

今回の宿泊研修では、きっと一年生も多くのこと気づき、学べたのではないと思う。例えば、人前で発表する緊張感や喜び、何かを成功させるために考える難しさ、友達がいて協力できることの嬉しさ、全員で楽しむことの素晴らしさ等である。もちろんこれは二年生のサポーターにも同じ事が言えるだろう。そして、この経験がきっと保育者として、人間として必要だったということに気づき、生かしていくことができる時がくると信じている。



2年生サポーターのみなさん。ありがとうございました。
カメラマン：2年 波木井君

学校説明会開催

5月13日土曜日に第1回学校説明会が開催されました。当日は保育原理(富岡先生)とドラマ(山本先生)の体験学習が行われ、参加者に好評でした。今後の学校説明会等の日程は・・・

<学校説明会>14:00~

- 6月24日(土) Let's 授業! 障害児保育(亀井) 音楽(三小田)
- 7月15日(土) Let's 授業! 乳幼児の運動教育(滝田) ピアノ(陸路・諸井)
- 9月9日(土) Let's 入試! 入試面接指導 入試小論文指導
- 10月7日(土) Let's 授業! 幼稚園教育実践指導(並木) 音楽(山田)
- 11月11日(土) Let's 授業! 言葉指導法(三澤) 造形表現指導法(谷関)
- 12月9日(土) Let's 入試! 入試面接指導 入試小論文指導
- 1月13日(土) Let's 授業! 保育実習(密城) ピアノ(陸路・諸井)

<オープン・キャンパス>

- 13:00~
- 8月5日(土) 体験学習 4科目同時開催 サークル・ゼミ実演
- 8月27日(日) 体験学習 4科目同時開催 サークル・ゼミ実演

是非、後輩や友人・知人に参加を勧めてください。もちろん学生の皆さんの参加も大歓迎です!



学園記念ホール
ステンドグラス



Information From

Nichi-On

—創立103周年—

since 1903

The Campus News

6月号
2006. 第119号
編集発行 学園事務局

日本音楽学校 幼児教育科 学生向情報

<<6~8月の行事予定>>

1年生		2年生	
6/9(金)	実習前授業終了	6/2(金)	実習前授業終了
12(月)~23(金)	観察実習(保幼)	5(月)~30(金)	実習
26(月)	授業再開	7/3(月)	授業再開
7/17(月)	海の日(休校)	17(月)	海の日(休校)
21(金)	夏期休暇前授業終了	21(金)	夏期休暇前授業終了
22(土)~8/30(水)	夏期休暇	22(土)~8/30(水)	夏期休暇
24(月)~7/27(木)	美術セラピー ワークショップ	24(月)~7/27(木)	美術セラピー ワークショップ
8/31(木)	授業再開(月曜日代替)	8/31(木)	授業再開(月曜日代替)

行事予定は追加・変更になることがありますので学内掲示等に注意して下さい。

実習にむけて

専任教員 密城 吉夫

6月から実習が始まります。

1年生の多くの学生にとっては初めての体験ですね。学校で学んだ知識を校外で実体験を通して学ぶのですから、頭の中であれこれと考えた末に期待感よりも不安感を抱く方も多いのではないのでしょうか。

一方、2年生にとっては1年生で体験した実習を基礎に、より深い考察や立案能力が問われます。前回の実習で、楽しかった体験や苦い経験を思い出し、「次はこうしよう。もっとこうしよう。」と意欲を燃やしている方もいらっしゃるのではないかと思います。



2年生は、来年には保育の第一線で活躍なさっているのでしょうか。初めての実習から視野を広げる実習へ、

そして第一線へ・・・。

このように考えていくと、本校の学生は、'1年ごとに急成長を遂げざるをえない'環境にあり、また実習先をはじめとした関係者の皆さまにとっても、多忙な日々を送る2年間ということがいえます。不安や緊張、失敗は誰にもあるでしょう。懸命にやった結果が失敗なら、許されるのが学生の実習です。'完璧にやろう'と力を入れすぎず、周囲の先生方や実習先の先生方には、疑問に思った点は折を見ながら積極的に質問をしてみましょう。'そうなのか' 'そうだったのか' と思える答えは誠意ある質問からも見つかるはず。実習を終えた時、次のステップへと意欲を燃やしている。そんな皆さんの姿を期待しています。



今回のお話の会には、お手伝いとして参加。特等席に座ることができ、かなりおいしい思いができました。藤田先生のお話を目の前で見ることで、とてもラッキーだったと感じている。会場へ行くと、今までお会いしたことのない品のよいおばあちゃんが何やら紙風船で遊んでいた。こんな不思議な雰囲気に囲まれた会場に足を踏み入れたことがなかった。しかも、その不思議な雰囲気はその方によって作られていた。藤田先生の話が始まり、僕のおばあちゃんと同じ福島出身ということもあり、僕は一気に話の世界に引き込まれてしまった。400ものお話を語れること、それは覚えようとしたのではなく、楽しかった思い出がそうさせているとのことだった。農作業の合い間、おじさんが話してくれたほんのわずかな時間が、小さかった藤田先生にとって何よりもかけがえのない時間だったのだろう。今の自分が生きている世界を思う

と、羨ましくもあり、悲しい思いにもさせられた。今、僕たちが生きているこの環境に、藤田先生ほどお話の環境に恵まれた子どもはいないのではないだろうか。しかし、保育者を目指すものとしては、負けてはいられない。ワクワクドキドキ大好きな子どもたちが僕の未来には待っている。藤田先生のおふれるオーラや魅力、温かさを僕も子どもたちに伝えていきたい。



ジョブ・ハンティング

今年度の「ジョブ・ハンティング」がスタートしました。「ジョブ・ハンティング」は、就職試験対策講座です。児童福祉、小児保健、一般教養など毎回テーマが設定されており、テーマごとに事前に配布された資料をもとに、テストまで各自が勉強を進めます。時間は60分、前半の30分が模擬試験、後半の30分が採点と詳しい解説に当てられます。そして毎回のテストの結果は、ニックネームで掲示されます。現

専任教員 富岡 麻由子

在10名の1年生と、4名の2年生が参加しています。こう書くと、とてもレベルが高く厳しい感じがしますが、実際もそのとおり、高いレベルが求められ、厳しいです。しかし普通の授業とは違う緊張感と達成感があるはず。勉強したぶんだけ結果が出せる。同じ目標をもった同士で競い合える、教え合える。繰り返していくうちに、だんだんと力がついていく。それが実感できる講座です。



就職試験の模試としてぜひ受験してください。1年生も予行演習のつもりでチャレンジしてください。



話し合いの様子

公立受験用 「公立保育士就職模擬試験」

2年生の学生を対象に公立保育士模擬試験を実施します。詳細は掲示で確認してください。実施日:7月14日(金) 受験料:1,100円(実費)

美化委員会・防災委員会 活動報告

美化・防災委員会は、近隣のオリジナルマップ作りを始めました。暗い階段、見通しの悪い道など、子どもにとって危ない場所。パン屋さんのいいにおい、きれいな花の咲く公園といった楽しい場所。委員が歩いて見つけています。(学生委員会 富岡 麻由子)

今年度保育士コースに「芸術セラピー基礎教養科目」が新設されました。新しい先生を迎えて授業が始まっています。7月にはイギリスのダービー大学からDr. Susan Hoganを迎え、「夏期集中講義～美術セラピー・ワークショップ～」が開催されます。本校学生のほかに一般の方も講義に参加する予定です。ぜひ楽しみにしてください。

ワークショップ期間:7月24日(月)～27日(木)

さて、既に始まっている新設科目の先生方から、ワークショップ開催にあたりメッセージをいただきました。有意義なワークショップ/授業にしてください。

《芸術セラピー・ワークショップに期待すること》

「臨床医学概論」ほか担当 齋藤秀俊 昨今医療の世界でも芸術は病む人の心の癒しになるといわれてきました。さらに、この特性を活かすことにより身体の中の治癒力を高めることができるともいわれます。本校で開講されている「臨床医学概論:こころと身体の医学」では、その基本となる「こころと身体の知識」について講義で学習しています。

本年イギリスのダービー大学のDr. Susan Hogan また来年度 Professor Graham Dickerson が本校のために来日されワークショップを開講していただけることを大変喜ばしく思っております。英国やヨーロッパは芸術療法にたいへん歴史があり、私も学生時代に Juliette Alvin らの文献を読みました。また渡欧したおりに見学や討論をしております。本年度開講されるDr. Susan Hoganのシラバスによると実際に大学院でおこなっておられる内容を集中講義の形で学習できます。芸術療法や精神療法における治療者の立場から始まり体験学習により、こどもから大人まで、どの対象者にも適応可能な芸術セラピーのツールを体得できるとおもわれます。ワークショップの体験をして他の関連授業を振り返っていただくと、授業において十分反映できない面がみえてくるおもわれます。また講義で得た知識をより深めていきたいという動機になるとおもわれます。英国の大学院でおこなわれている授業を本校で受けられるのは大変有意義で楽しいことです。



《美術セラピー・ワークショップ開催にあたって》

「芸術セラピー概論」ほか担当 中目ますみ 芸術療法(セラピー)は、芸術といわれるものを使って「癒し」を期待する、心理療法のひとつといわれている。療法といわれて行われているものを刺激する感覚から大別してみると

- ①視覚的要素から 絵画療法、箱庭療法、コラージュ、切り絵、ちぎり絵、版画、彫刻、書道、華道など
- ②聴覚的要素から 音楽療法、詩、俳句、短歌、川柳、詩吟など
- ③体感・動作的要素から ダンス、エアロビクス、演劇、園芸、料理、茶道など

これらのどの療法も人間の持つ五感を活用させなければならぬことは、共通である。

さて日本音楽療法学会では、「音楽の持つ生理的、心理的、社会的働きを、心身の障害の回復、機能の維持改善、生活の質の向上に向けて、意図的、計画的に活用して行われる治療技法である」と定義している。この学会で認定された私たち音楽療法士は、この定義にそって音楽療法を行うわけなのだが、対象となるのは「人」であるからその時その時で状況はことなるし、人一人それぞれことなるので「今のその人」を尊重して自分の引き出しから提供できることを考え、それを自分の中で応用して行えるようにならなければならないと思う。目にみえることから人との関係をつくることは、普段無意識に誰もがやっていることだと思う。ところが音楽療法で関わる「人」は、目にみえること以上に、目にみえないところで関わらなければならないことがある。その時言葉ではなく音楽を媒介にするということとその関わりが普段の人との関係より早く、そして深くなることのできる。これは「人」の[心]のふかいところに音が作用するからである。

同じ芸術療法でも使用する道具、動きなど目にみえることでのアプローチは異なるが、目にみえない五感の働きによるアプローチの共通性を、又セラピストの「人となり」をぜひ学びたいと思う。

(日本音楽療法学会認定 音楽療法士)

